

妙高太郎さまサービス担当者会議（良い例）

★本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

さっそくですがこれから、妙高太郎さまのサービス担当者会議を始めさせていただきます。

お忙しい皆様ですので、本日の会議は、おおよそ15分、午後5時20分終了をめどに行ないたいと思います。

皆様のご協力をお願いします。

★皆様ご存知かと思いますが、いちおうご参加していただいた方の自己紹介をお願いします。

→〇〇ヘルパーステーションの△△です。ケアマネジャーの□□です。訪問看護師の〇〇です。在宅主治医の〇〇です。娘の〇〇です。

★今回、担当者会議を開かせていただいたのは、引越しが終わり、環境やご本人の状態に変化がみられるためです。

★太郎様は、現在86歳ですが最近ずいぶん体重が増えました。お手元の資料に体重の推移をグラフにしました。昨年8月51.5kgが現在59kgと7kg以上増加しています。また、皮膚の状態の悪化も心配される状況にあります。ご本人が90歳すぎまで元気に生活できるように、生活全体を見直す必要があるのではと考えました。

★体重増加や皮膚の状態のことをふまえて、皆様のご覧になっている状況やご意見ををお願いします。

まず、ご家族のほうから如何でしょうか？

⇒家族:帰宅してからの団欒のときに、かわいそうだからついチュウハイを飲むのが日課になっています。

なるべくカロリーの低い等質50%のものです。夜食につまみを食べる習慣はなくそうと思います。

アイスクリームも一個80キロカロリーのものを用意していますが乳脂肪の多い高カロリーのものを好んで食べてしまいます。

最近体調がよさそうで、家族としてはうれしいのですが、本人が食べたいものを自分で探して食べてしまうので、どうしたらいいでしょうか？ 今後は、おばあちゃん様のエンシュアリキッドやアイスが本人の手の届かないように、しまい場所を考えます。小さなストッカーなどを購入してみます。

★ご家庭での状況について〇〇ヘルパーステーションの方、それから訪問看護の方よりお願いします。

⇒ヘルパー:現在、週〇回、午後〇時より1時間訪問介護でご自宅に伺っています。認知症があり全く寝たきりの奥様とお2人分の介護をしています。食事は野菜中心で、主催・副菜を調理しています。おなかが空くのか、ご自分でアイスクリームや、奥様に用意してあるエンシュアリキッドも摂取されています。また、どうしても夕食が早い時間帯になってしまうので、ご家族が帰られてから夜食やアルコールも飲まれているようです。皮膚の状態も、アルコールを飲んでいるときにはかゆみも増強し悪くなっていると思います。

⇒訪問看護:2週に一回、服薬管理と体調チェックの目的で訪問させていただいています。呼吸状態は安定しており、服薬も問題ありません。皮膚の状態も、変動がありますがまずまずだと思います。

★それでは、先生のほうから如何でしょうか？

⇒主治医:体調がよさそうなのはいいことなのですが、体重の増加があまりに激しいです。おなかに脂肪がつくと、肺を圧迫しますから風邪を引いたりすると呼吸状態がより悪くなってしまいます。また、血糖も高くなってきており、軽い糖尿病の状態にあります。今のところ糖尿病の薬は必要ありませんが、体重を減らしていく必要があります。おなかに脂肪が極端についてきているのは皮膚科で処方されているステロイド剤の影響もあると思われますが、いずれにせよこのままではまずいです。体重を減らすには、こまめに体を動かす事が大事です。たとえば、ご自宅でカーテンの開け閉めや今後家の周囲の植栽の水遣りなど、何か役割をさせていただければいいと思います。また体重計を準備しておいてください。定期的に測り記録するようにしたらいい

① 開催の宣言と予定終了時刻の周知

② 参加者の紹介

③ 開催の目的をハッキリさせる

④ 現状と課題(討議してもらいたい点)の簡単な紹介

⑤ ご本人→ご家族→サービス担当者→主治医の順番に、④をふまえて発言

妙高太郎さまサービス担当者会議（良い例）

と思います。アルコールについては本来禁止でしょうが過去の経緯を考えると、夜のチュウハイのみは O.K. ということにしてみいいのではないのでしょうか？

★確かに新築の家に移ってから、居間で横になっている事が多いようです。具体的に体を動かす機会を作っていく必要があるようです。何か他にご本人の家での活動を増やす方策についてはありませんでしょうか？

⇒家族:その他、猫がいるので餌と水の準備など世話をしてもらうことにしましょう。

⇒ヘルパー:食事もベッドではなく食堂で3回とも食べていただくことにします。ご本人にそれとなくお話しして、なるべく横にならないようにしていただきます。

★体重については、ヘルパーさんに1週間ごとに入浴前に測定していただきご本人にも確認し、納得していただくようにしてみます。具体的には何kgを目標にすればよいのでしょうか？

⇒主治医:体重の目標は、54kgくらいだと思います。急な減量はストレスになりますから、最初の1ヶ月で1kg、その後は2ヶ月で1kg程度の減量で充分です。

★いろいろな意見をありがとうございました。具体的な生活の見直しとして、体を動かす機会をつくる。

たとえば、猫の世話・カーテンの開け閉め・今後庭木の世話などを勧めていく事になりました。

また食事面では、アイスクリームなどのしまい場所を検討していただき、夜のチュウハイはいいことになりました。

また、体重を定期的に測定しご本人にも減量の必要性などを自覚していただくようにしましょう。

残された課題としては、実際ご本人が納得して体を動かしていただけるかどうかだと思います。

また、3ヶ月ほどの経過を見て、必要なら計画の見直しを行ないたいと思います。

本日は本当にありがとうございました。

⑥ ④／⑤をふまえての

追加発言

⑦ まとめと残された課題

を伝える